



取締役会長
若林勝三

取締役社長
鈴木秀夫

はじめに

この度の東日本大震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社は、国内唯一の家計地震保険の再保険専門会社として昭和41年に設立されて以来、現在に至るまで再保険金の支払態勢の強化・充実に努めるとともに、その裏付けとなる資産の管理・運用にも十分意を用いてまいりました。

世界各地で大地震、大噴火などの自然災害が発生するなか、本年3月11日に発生した平成23年東北地方太平洋沖地震は、わが国観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、東北地方・関東地方を中心とする広範囲にわたり大津波が押し寄せるなど甚大な被害をもたらしました。

当社は、地震発生後速やかに震災対策本部を立ち上げ、早期の再保険金支払いに備え、資産の売却をすすめるとともに、地震再保険金概算払制度を初めて適用するなど、全社一丸となって取り組んでおります。

この未曾有の災害により、地震保険に対する国民の期待、関心が高まるとともに、当社が果たす役割と責任は一層重くなり、今まで以上に厳しい経営が求められるものと思います。

このような状況下、地震保険制度の充実・発展に積極的な役割を發揮し、ステークホルダーから信頼される会社へ発展するために邁進する所存です。

このディスクロージャー誌「日本地震再保険の現状2011」は当社の現状と活動を明らかにするために作成いたしました。当社のホームページもあわせてご覧いただき、当社の事業活動についてご理解を賜るとともにご意見を頂戴できれば幸いです。

平成23年7月

日本地震再保険株式会社

取締役社長

鈴木秀夫